

令和4年4月26日

RKB 毎日放送株式会社 御中

全国小児歯科開業医会

会長 土岐 志麻

### 番組内容の抗議について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、貴局にて、令和6年4月22日（月）に放映された「[麻酔治療が必要なむし歯は1本もなかった]司法解剖した医師が証言 死亡した2歳女児 背景に過剰治療か」につきまして、当該事件につきましては私共としましてとても心を痛めており、事件の真相解明とそれに伴った再発防止策が取られることを切に願っております。一方で、報道内容におきましては、小児歯科医療について事実を歪曲、また著しく偏った表現がなされておりました。

具体的な内容としましては、

第一に、番組内でインタビューを受けている医師は「乳歯なのでそのまま抜けるのを待ってもいいし、他の歯にむし歯が進まないように予防的に治療する、その程度の治療でじゅうぶんだと思います。」と述べています。確かに軽度のむし歯でそのような考えを持つ方はいるかもしれませんが、現在、低年齢児での虫歯の多発、また放置は、児童虐待を疑う所見として医療・保育業界で広く認知されており、このような発言はむし歯を放置しても良いと視聴者に対して誤った印象を与えかねません。本邦の子ども達のむし歯に罹患率は減っているものの、一人の子どもが低年齢で多数、かつ重度の虫歯を持つケースもあり二極化が問題となっております。乳歯のむし歯治療はむし歯の大きさや年齢、患児の協力度などの状況により総合的に判断して処置対応する必要があります。例えば低年齢で号泣のお子さんの中程度のむし歯はご指摘のように一時的に進行止めで様子を見ることもあります。またいつ痛みが出てもおかしくないような重度の神経に届くようなむし歯は早急に治療が痛くないように麻酔をして、できるだけ短時間で治療を終えるようにします。一方、交換期に近づいた乳歯のむし歯は経過観察や抜歯も選択肢として考えられます。もしかりに歯を削る必要のない初期のむし歯である場合は一般的にむし歯再発防止や重症化予防のためシーラントという歯の溝をプラスチック樹脂で覆う処置を行います。とにかく小児

歯科では子どもの負担を極力最低限にして効果ある処置を行うよう心がけています。そこが大人の歯科治療と一番違うところです。

この報道が小児歯科を専門領域とする歯科医師が監修を行わず一方的に放映されたことが遺憾でなりません。

第二に、番組後半で、司法解剖に立ち会った歯科医師2名が「1200円をとるか、460円をとるか。モラルハザードを起したら、『これ削ってやろう』となってしまう」、「むし歯が減ってきたため治療の対象を広げすぎているのではないか。以前なら応急処置以外は治療しなかった3歳未満のむし歯や治療可能な年齢であっても昔なら治療しなかったような小さなむし歯が削られている実感があります。子供の歯科治療が、医業収入を上げるための草刈り場になっているのが現実ではないでしょうか」と述べています。

子どもの歯科治療は治療の難易度が高いこと、子ども一人一人での協力度に差が著しく、治療には多くの時間や労力がかかることから、一般的な歯科医院からは小児の治療は敬遠されていることが多く、そのため一般歯科からの歯科治療困難児が紹介され全国の小児歯科専門医療施設では治療を待つ子ども達が多数おり、現場の小児歯科医やスタッフたちが、子どもたちの健康のために日々終業時間を過ぎても診療を続けているのが現実です。そういった状況を鑑み、歯科診療における診療報酬は厚生労働省が制定しているものであり、これは同じ子どもの医療である小児科においても同様です。このような中で、「子どもの歯科治療が医業収入を上げるための草刈り場」といった発言は実態と乖離しており、適切な取材や検証を行ったうえで番組が製作されたのか疑問が多くあります。

更に、まとめの部分では小児歯科医院が子供医療による自己負担無償下を隠れ蓑に、低年齢児について意図的に不必要な歯を削って違法に収入を得ており、それが今回の事故の遠因となったといった印象を視聴者に与えます。

これらの発言は、国民からの信託を受け、子どもたちの口の環境を守るために日夜不断の努力を続けている全国の小児歯科医、小児歯科衛生士をはじめとする小児歯科医療従事者の存在を踏みにじる内容であり私共としては断固として許すことはできません。

このような放送が行われたことで、小児歯科医療に対する不必要な恐怖や不安を国民に根付かせ、今後国民にとって必要な歯科医療を十分に受けることができないことが懸念されます。

以上の観点から、当会としましては貴局に対し、本番組放映に関する謝罪および訂正記事の掲載、また、現在アップされているweb記事の削除ともに、今後同様の番組等が制作・放送されないように、事前に専門家との協議の場の創出や、歯科医療に偏見のない番組づくりの仕組みの検討を要求いたします。

よろしくお取り計らいくださいますよう、お願い申し上げます。

敬具